

『移動式クレーン運転士学科試験 令和4年版』
 に関するお詫びと訂正のご案内

『移動式クレーン運転士学科試験 令和4年版』の内容について誤りがありましたことを、心よりお詫び申し上げます。以下の通り訂正致しますので、お手持ちの本書に加筆訂正をお願い致します。

ご迷惑をおかけ致しまして誠に申し訳ございません。

よろしくお願い申し上げます。

初 版

P.210 【問13】解説	誤	Bの圧力 = $12.56 \times \frac{7}{3.14} = \underline{63 \text{ (N)}}$
	正	Bの圧力 = 28.26 $\times \frac{7}{3.14} = \underline{63 \text{ (N)}}$
P.211 【問18】解説	誤	(2) 一般に用いられる作動油の引火点は、 <u>180 ~ 140℃</u> [110 ~ 140℃ ×] 程度である。
	正	(2) 一般に用いられる作動油の引火点は、 <u>180 ~ 240℃</u> [110 ~ 140℃ ×] 程度である。
P.216 【問39】解説	誤	<ul style="list-style-type: none"> 単位を N/mm² に変換 丸棒の断面積の半径 = 1 cm = 10mm 部材の断面積 = 半径 × 半径 × 3.14 × 高さ = 10mm × 10mm × 3.14 (π) = 314mm² 部材に作用する荷重 = 900kg × 9.8m/s² = 8820N $= \frac{8820\text{N}}{314\text{mm}^2} = 28.08917\cdots \div \underline{28\text{N/mm}^2}$
	正	<ul style="list-style-type: none"> 単位を N/mm² に変換 丸棒の断面積の半径 = 1 cm = 10mm 部材の断面積 = 半径 × 半径 × 3.14 ×高さ = 10mm × 10mm × 3.14 (π) = 314mm² 部材に作用する荷重 = 900kg × 9.8m/s² = 8820N $= \frac{8820\text{N}}{314\text{mm}^2} = 28.08917\cdots \div \underline{28\text{N/mm}^2}$
P.244 【問33】解説	誤	▪ アルミニウムの 1 m ³ 当たりの質量は約 8.9t。
	正	▪ 銅 の 1 m ³ 当たりの質量は約 8.9t。
P.274 【問38】解説	誤	<ul style="list-style-type: none"> アルミニウムの 1 m³ 当たりの質量は約 7.2t。これで、直方体の質量を求める。 = 1 m³ × 2.7m³/t = 2.7t
	正	<ul style="list-style-type: none"> アルミニウムの 1 m³ 当たりの質量は約 2.7t。これで、直方体の質量を求める。 = 1 m³ × 2.7m³/t = 2.7t

P.211 【問 18】 解説	誤	(2) 一般に用いられる作動油の引火点は、 <u>180 ~ 140°C</u> [110 ~ 140°C ×] 程度である。
	正	(2) 一般に用いられる作動油の引火点は、 <u>180 ~ 240°C</u> [110 ~ 140°C ×] 程度である。
P.216 【問 39】 解説	誤	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 単位を N/mm^2 に変換 丸棒の断面積の半径 = $1\text{ cm} = 10\text{ mm}$ 部材の断面積 = 半径 × 半径 × $3.14 \times$ 高さ $= 10\text{ mm} \times 10\text{ mm} \times 3.14 (\pi) = 314\text{ mm}^2$ 部材に作用する荷重 = $900\text{ kg} \times 9.8\text{ m/s}^2 = 8820\text{ N}$ $= \frac{8820\text{ N}}{314\text{ mm}^2} = 28.08917\dots \doteq \underline{28\text{ N/mm}^2}$
	正	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 単位を N/mm^2 に変換 丸棒の断面積の半径 = $1\text{ cm} = 10\text{ mm}$ 部材の断面積 = 半径 × 半径 × $3.14 \times$ 高さ $= 10\text{ mm} \times 10\text{ mm} \times 3.14 (\pi) = 314\text{ mm}^2$ 部材に作用する荷重 = $900\text{ kg} \times 9.8\text{ m/s}^2 = 8820\text{ N}$ $= \frac{8820\text{ N}}{314\text{ mm}^2} = 28.08917\dots \doteq \underline{28\text{ N/mm}^2}$
P.274 【問 38】 解説	誤	<ul style="list-style-type: none"> ▪ アルミニウムの 1 m^3 当たりの質量は約 7.2 t。これで、直方体の質量を求める。 $= 1\text{ m}^3 \times 2.7\text{ m}^3/\text{t} = 2.7\text{ t}$
	正	<ul style="list-style-type: none"> ▪ アルミニウムの 1 m^3 当たりの質量は約 2.7 t。これで、直方体の質量を求める。 $= 1\text{ m}^3 \times 2.7\text{ m}^3/\text{t} = 2.7\text{ t}$